

表紙・裏表紙写真の説明

表紙写真の説明

撮影日：2016年6月

使用機材：OLYMPUS E-M5 Mark II/M.ZUIKO DIGITAL ED 12-40mm F2.8 PRO/絞り：F5.6・シャッター速度：320分の1秒

コメント：現在の歯学部正面玄関前の写真を撮影するにあたり、センサーサイズについていろいろと考えました。デジタルカメラ時代となり、フィルム時代に主流だった36×24mmのフォーマットの足枷から解かれるかと思いきや、最近の傾向ではレンズ交換型のカメラの多くがこのレガシーフォーマットに戻りつつあるようです。以前はセンサーが高価で、フィルムとの特性の違いもあり、フィルム時代のレンズ資産の活用に配慮して少し小さめの24×16mm弱のセンサーが主に用いられてきましたが、最近では技術的な進歩によりフィルム時代のセンサーサイズでも実用的になってきたようです。しかし、その一方で、デジタルでは要求水準が高くなるために、新規に発売されるレンズは一回り大きく、より高価になっています。機器のハンドリングと画質とのバランスを考えると、17.3×13mmのフォーサーズサイズのフォーマットが適する場面もあるように思われます。今回は被写界深度、周辺光量や解像感の均質性に配慮し、フォーサーズフォーマットを採用しています。

撮影者：林 孝文 教授

裏表紙写真の説明

コメント：池の上の樹上で獲物が来るのを辛抱強く待っている雄のカワセミ、長くくちばしで池の中の魚やエビなどを仕留める。東京・目黒の自然教育園にて

撮影者：河野 正司 名誉教授

歯学部ニュース

平成28年度 50周年特別号

発行者 新潟大学歯学部
編集責任者 前田 健康
編集委員 石田 陽子、加来 咲子
吉田恵太郎
印刷所 (株)ウィザップ